

## 宮城県チーム 上位入賞続出

孫世代からの応援をパワーに変えた宮城県チームは、バウンドテニス（団体）、健康マージャン（個人）、水泳、サッカーなど複数の種目において上位入賞を果たしました。中でも、バウンドテニス及び健康マージャン（個人）では優勝を手に入れています。優勝したバウンドテニスの高橋友子選手と健康マージャンの江口豊治選手から、大会に参加した感想や今後の抱負についてお話を伺いましたので紹介します。



### ねんりんピックを終えて

バウンドテニス（宮城おむすび丸君チーム）

高橋 友子

2つの台風が接近中の出発となり、雨の高知入りでしたが、開会式は晴天となり、感動のうちに終了しました。26日は予選リーグ。大会前の抱負で「チームで優勝」とは言ったものの、組み合わせをみると広島、愛媛などの強豪チームが相手となり、なかなか容易ではないと感じていました。しかし実力を信じ、気合いと集中力で一位通過。27日はいよいよ決勝リーグ。気の抜けない試合が続いている中、県の担当者にも応援に駆けつけていただき、負け試合は1ゲームのみの素晴らしい成績で優勝することができました。高知の人の優しさをたくさん感じた大会でした。その後は四国の名所を観光。名物をいただき広島まで足をのばし、初参加のねんりんピックは大満足でした。次の大会まで練習に励みます！

### アドバイスがもたらした優勝！

健康マージャン（個人） 江口 豊治

10月25日、仙台空港から台風に向かうかのように、伊丹空港を経由して高知空港に着陸しました。心配していた暴風雨も弱まり、その後は翌26日の開会式・27日・28日の団体戦・個人戦も晴天に恵まれました。

試合前日には、今回の行程表・航空便・ホテルなどの手配をしてくださった「宮城県麻雀段位審査会」の皆さんと選手とで懇親会が行われました。山岸会長からは「全国大学生選手権大会も宮城県が優勝と準優勝を独占したので、東北人特有の粘りと底力で、最後まで諦めないように。チャンスは訪れます」とアドバイス、叱咤激励をいただきました。この言葉を思い出し、1回戦はじっと我慢、2～4回戦はツキにも恵まれて、まくれで優勝することができました。

これからは「宮城県麻雀段位審査会」、「大志会」、「けやき友の会」、「多賀城市新田中麻雀同好会」に活動の拠点を置き、友人の輪を広げて、健康マージャンの素晴らしさをシニアだけでなく、若い人への普及にも努める所存です。

## 感動の総合閉会式

平成26年度は栃木大会へ

4日間にわたる競技関係を終了し、29日は高知県立県民文化ホール（オレンジホール）で総合閉会式が開催されました。ふれあい交流から生まれた思い出や、ねんりんピックの意義を改めて確認するに相応しい式典でした。来年の開催は栃木大会です。大会旗が高知県知事から栃木県知事に手渡され、ふれあいの輪が引き継がれました。栃木大会においても、全国から参加される方々とふれ合い、世代を超えた絆が芽生えるように交流を深めていきたいと思ひます。

### 宮城県内の福祉施設・介護事業者向けの総合補償制度

## 宮城県地域福祉総合補償制度をご利用下さい

- ポイント1** 社会福祉協議会の会員である社会福祉施設、介護サービス事業者が加入できます。
- ポイント2** 地元宮城県で加入手続き・事故対応・その他アフターフォローを行いますので安心です。
- ポイント3** 団体制度のため、有利な団体割引が適用されます。（一部適用外）



**お問合せ** みやぎボランティア総合センター TEL022(222)0010  
三井住友海上火災保険株式会社 TEL022(221)3171  
(株)オンワード・マエノ TEL022(762)9915

※この制度の各補償は宮城県社会福祉協議会が保険会社と締結した保険約款により行います。

# シニア世代の健康と福祉の祭典 『ねんりんピック』

# よさこい高知2013

## レポート

「長寿の輪 龍馬の里で ゆめ交流」をテーマに、スポーツ・文化・健康・福祉の総合的な祭典「第26回全国健康福祉祭こうち大会（愛称：ねんりんピックよさこい高知2013）」が、平成25年10月26日から29日までの4日間にわたり、高知県10市6町1村広域連合を舞台に開催されました。

全国から1万人近い選手が集まり、宮城県からは強豪揃いの127人が20種目の競技に参加しました。

ここでは、世代や地域を超えて交流の輪を広げた大会の様子をご紹介します。

## いざ黒潮・高知へ

宮城県選手団は総勢134人（役員7人含む）。総合開会式及び卓球・テニス・剣道・将棋など20種目の競技に参加するため、10月25日に仙台空港から高知に向け出発しました。台風27号の影響で、高知へ無事に着けるか危ぶまれましたが、予定どおり高知に到着することができました。

総合開会式は高知県立春野総合運動公園陸上競技場で開催されました。常陸宮同妃両殿下のご臨席を賜りながらの式典、それに続くアトラクションでは、高知県の歴史、文化、自然、パワーを坂本龍馬が各シーンをつなぐストーリーテラーとして登場し、とても心に残る開会式でした。競技関係は27日から高知市内を中心に各市町村で3日間にわたり開催されました。

選手たちには移動の疲れが心配されましたが、鍛錬された肉体からは微塵も感じられず白熱した競技が展開され、多数の上位入賞を果たすことができました。さらに、競技を終えると対戦相手と積極的に労をねぎらいながら交流を深めていました。

高知市内の路面電車、バスを乗り継ぎ高知城へ、そして桂浜へと、歴史と浪漫を堪能した選手も大勢いました。大会期間中は天候にも恵まれ、若干の蒸し暑さが残っていて、まさに「南国高知大会」を肌で感じる大会でもありました。

## かわいい応援団！

～ねんりん・くろしおKIDS～

開会式待機場の補助陸上競技場では、なにやらかわいい子どもたちが「ガンバレ宮城県！」の応援横断幕を掲げてお出迎えしてくれました。彼らは「ねんりん・くろしおKIDS」と呼ばれる高知市立横浜新町小学校5年生の児童10人です。県民参加の取り組みのひとつとして、「世代間交流」を目的に参加都道府県の選手を専属に応援する応援団です。事前に宮城県の自然や文化・歴史などを学習して、選手たちは孫世代からの応援とあって大変励みになりました。お礼として、三浦俊一団長（本会会長）が児童の代表にプレゼントを手渡しました。

